



こどもクリニックニュース

NO. 100 平成20年4月1日発行

5月までの休診の予定

4月11日(金)～12日(土)
4月25日(金)～26日(土) 日本小児科学会

その他、ゴールデンウィーク期間はカレンダーどおり日曜・祝祭日は休診です。

院長の予定 (2008年5月まで)

4月	9日	(水)	2才健診	保健センター
	23日	(水)	内科健診	水深小
5月	2日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	8日	(木)	BCG	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

診療報酬の改定

診療報酬とは、いわゆる治療費のことです。我々が提供している医療サービスの値段は、すべて統制価格で全国共通です。(水痘やインフルエンザなどの任意の予防接種などは別です。)この診療報酬は2年に1度、定期的に見直しが行われ、そのときの医療や経済状況などに基づいて、さらに政府の政策(方針)に沿って変わることになります。今年も4月1日から、診療報酬が若干変更になりましたので一部の患者さんでは診療後の一部負担金の額に変更がでることになります。

いつも言っていますが、日本の医療費は増加しています。一番の原因は急速な高齢化に伴う老人医療費の増加です。それに加えて、医療の進歩に伴う高額な医療行為が増えていることも挙げられます。このままでは医療費がうなぎ登りに増加するため、医療費支払いの主体となる、保険料や税金収入の増加が避けられません。政府は「これ以上の保険料・税金のアップは国民が納得してくれないと考え、医療費をできるだけ増やしたくない」というのが今の方針です。その結果、診療報酬(一人ひとりの治療費)は全体的には下げられています。最近、産科や小児科医不足が社会問題となっているため、病院の産科・小児科の診療報酬は若干増加されましたが、それ以外ではおおむね減少が横ばいです。

これがどのような結果をもたらすか想像できますか?おそらく多くの病院では、診療報酬(病院の収入)が増えないでしょう。そのため、そこで働く医師や看護師の給料を増やすことが困難になります。人員増加など夢のような話でしょう。医療の安全はさらに厳しく求められていますので、職員の負担は増えています。これでは、疲れて辞める医師が今後も後を絶たないこととなります。このままでは、今の危機的な医師不足は解消されることはないでしょうね。



感染症の情報

今年も麻疹が流行しています。

現在までのところ、関東地方では神奈川県での報告数が断トツで多く、それに東京都、埼玉県、千葉県などが続いています。年齢分布では、10代・20代の患者さんが多いですが、乳幼児の方もかなり報告されています。

麻疹の流行は春先から初夏にかけてピークになるので、毎年決まったパターンですので、今後しばらくは流行が続くものと推測されます。1才になったらできるだけ早く、麻しん風しん(MR)混合ワクチンを接種しましょう。

今シーズンのインフルエンザの流行はほぼ終息しました。今シーズンはA型インフルエンザがほとんどで、B型の患者さんは1割弱程度でした。インフルエンザの患者さんに関する個人的な印象としては、高熱・悪寒・全身倦怠というような典型的な症状の方は比較的少なかったように思われます。でもだからと言って、来年も軽くすむという事でもありませんし、話題になっている新型インフルエンザの流行も時間の問題でしょう。インフルエンザは重い病気だということを忘れないでください。

ウイルスによると思われる胃腸炎の患者さんはまだ多く見られます。また溶連菌感染症や水痘、おたふくかぜの患者さんもみられます。ほとんどの感染症は春休みのおかげでかなり減少すると思われていますが、新学期が始まるとまた勢いを盛り返してきます。公費の予防接種はもちろんですが、任意の予防接種(水痘、おたふくかぜ、など)も是非おすすめいたします。

感染症ではありませんが、3月になってから喘息発作で来院される方が増えています。

MR 混合ワクチン・・・3期・4期決定

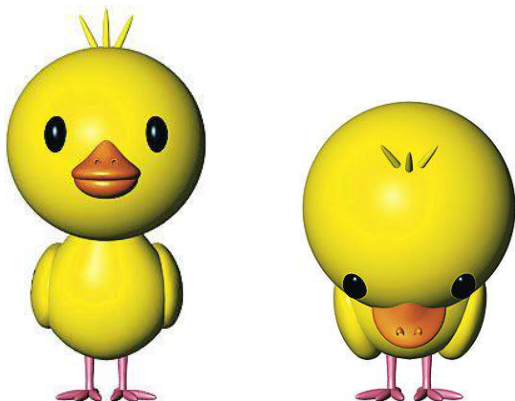
以前より何度もお知らせしていましたが、中学生と高校生に対する麻しん風しん（MR）混合ワクチンの公費接種の実施要領が正式に決定しました。

平成20年度（今年の4月）から5年間の時限措置として、中学1年生と高校3年生に対してMRワクチンの公費接種が実施されます。中学1年生は、各学校において「集団接種」で実施されます。現在の予定では、夏休み前までに終了するように計画されています。接種当日に体調不良の場合や私立中学校通学など、特殊な事情の方に対しては「医療機関での個別接種」で実施されます。高校3年生（の年齢の方）は全員「医療機関での個別接種」です。各家庭に案内と予診票が送られてきますので、まずはかかりつけの医療機関へご相談ください。

以上の内容は加須市の実施要領ですが、近隣の市町村でもおおむね同じような内容になると思われます。ご質問などは各市町村の保健センターへお尋ねください。

なお、平成20年度の小学3年生と中学2年生が、この制度により公費でMRワクチンを接種できるのは4年先になります。もしもそれ以前に、任意での接種を希望される方はご相談ください。また今年高校を卒業された方およびそれ以上の年齢の方々に対するMRワクチン公費接種は予定されていません。おそらく将来も実現しないでしょうから、任意でのワクチン接種を強くお勧めします。

最後に、この春に幼稚園や保育園の年長さん（の年齢）になった方は、4月1日より「MRワクチン2期」を受けることができます。公費（無料）で接種できるのは来年の3月31日までですが、現在麻疹が流行していることを考えれば、できるだけ早く接種されることをお勧めします。



スギとヒノキの花粉症

当初の予想通り、今年のスギ花粉の量はとても多いようです。2年ぶり、3年ぶりにひどい症状で困っている方に加えて、はじめて花粉症の症状が出てきたという方も多いです。例年と少し違ったのは、花粉が本格的に飛び始めたのが遅かったということでしょう。例年なら2月中旬には本格的な飛散がはじまるのですが、今年は2月に寒波が居座ったために3月に入ってから突然大量の花粉が飛び始めました。3月上旬は、耳鼻科と眼科の先生方は超多忙な毎日だったようです。もちろん待ち時間が長かった患者さん方もお気の毒でしたね。スギ花粉はこれからだんだん少なくなっていきますので、もう少しの辛抱です。来年は早めに治療を始めて、快適な生活を送るようにしてください。

でもその前にまだヒノキの花粉にも注意が必要です。スギ花粉で症状が出る方の多くは、ヒノキの花粉にも反応することが多いです。関東地方でヒノキの花粉が飛ぶのは、3月末から5月の連休くらいまでです。飛散のパターンや症状はスギと同じです。晴れた日は多く、雨の日は少なくなり、風が強い日はぐんと増えますので要注意です。



めったにない、編集後記

クリニックニュース100号達成！！

当院は平成10年11月に開院し、翌年の7月頃に第1号のクリニックニュースを発行しました。以来、おおむね月に1回のペースで発行していましたが、いつの間にか100回目となっていました。中身は大したことはないのですが、我ながら良く続いているものだと感心しています。ヨクヤツタ！

今後も引き続き（できればもっと濃い内容での）発行を目指します。ご意見・ご要望などは大歓迎です。

子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい
当院のホームページ <http://www.tomonaga-kc.com>